

wOLIB - 機能 #146

機能 # 144 (終了): アプリケーション用データの格納場所が入っている文字列を用意する

引数からCatalogue::resourcePathを作る

2019/02/12 13:55 - Yuji Tateno

ステータス:	終了	開始日:	2019/02/05
優先度:	通常	期日:	2019/02/22
担当者:	Yuji Tateno	進捗率:	100%
カテゴリ:		作業時間:	0.00時間
対象バージョン:			
説明			
Catalogueシングルトンクラスを用意して、Catalogue::resourcePathに--BasePathコマンドラインオプションに"resources/"を追加した文字列を格納する。			
現時点ではCatalogueはresourcePathを格納するだけだが、将来的に文字列をカタログに従って変換するようになる。カタログもresourcePath内に格納されるし変換された文字列もファイル名であればresourcePath内の相対パスであることが多いのでこのようにしておく。			

履歴

#1 - 2019/02/12 13:58 - Yuji Tateno

- プロジェクトをwOCEからwOAppに変更

#2 - 2019/02/12 14:15 - Yuji Tateno

- 題名をargc[0]でResourcePathを作るからargc[0]からResourcePathを作るに変更

#3 - 2019/02/12 15:00 - Yuji Tateno

- 題名をargc[0]からResourcePathを作るから引数からCatalogue::resourcePathを作るに変更

- 説明を更新

#4 - 2019/02/16 04:05 - Yuji Tateno

- プロジェクトをwOAppからwOLIBに変更

wODMにも必要なのでプロジェクトをwOLIBへ変更

#5 - 2019/02/16 04:07 - Yuji Tateno

wODMとwOAppではBasePathのデフォルト値が異なるのでその点を考える必要がある。

#6 - 2019/02/16 06:35 - Yuji Tateno

- ステータスを新規から終了に変更

- 進捗率を0から100に変更

[bdf4db0f081b](#)により終了